

雨にも負けず掘りました

3月26日と4月2日、泊野観光たけのこ園が開園しました。このイベントは泊野区活性化委員と泊野地区笛生産組合が主催して行われており、今年で14回目を迎える本町の恒例行事となっています。

今年は2回ともあいにくの雨模様でしたが、約220人の参加者は雨カッパを身に付け、地元の方の指導をもらいながら、うれしそうにたけのこ掘りを楽しんでいました。

たけのこ掘りの後は、泊野地区林業集会所で、地元女性グループが丹精込めて作った「たけのこ料理」を味わいながら、「みやんじょ五ツ太鼓雲母流」の演奏や、おいしい「きらら米」が当たる抽選会も行われ、大いに盛り上がりつつありました。

また会場では、地元農産物販売や餅つき、味噌作り体験（JAさつま協力）などもあり、参加者は地元住民と交流を深めながら楽しんでいました。



たけのこ掘りを楽しむ参加者



たけのこ料理に五ツ太鼓でご満喫

チューリップを描く子どもたち



時吉 チューリップ祭り

4月9日、時吉運動公園下で、時吉チューリップ祭りが開催されました。当日はスケッチ大会も開催され、遠くは始良町からの参加者もいました。

大会に参加した多くの方は、8,000本の色鮮やかなチューリップの花々を真剣な表情で、描いていました。当日は、おにぎりや豚汁も振る舞われ、参加者は、チューリップの花を眺めながら美味しそうに食べていました。



奥薩摩ホタル舟 運航安全祈願祭

4月15日、さつま町神子の川内川神子橋下流の河川敷で、第5回奥薩摩のホタル舟運航安全祈願祭・進水式が行われました。これは、奥薩摩のホタルを守る会（上大迫重規会長）が主催したもので、5月からのホタル舟運航を前に行いました。今年の祈願祭では、昨年度の電源立地地域対策交付金事業で購入したホタル専用船7艇の進水式も併せて行われました。

安全祈願神事後、テープカットが行われ、鶴田中学校吹奏楽部の演奏に合わせて新しいホタル舟は川内川を勢い良く進んでいきました。



舟の安全を祈願する関係者